

市政ニュース

昭和44年5月15日発行 第214号
毎月1.15日発行 一部3円
発行所 五所川原市役所

ことしの市政の方向

明るくたくましい大五所川原建設へ



（佐々木市長）

三たび市長になった佐々木市長は、今年度の施政方針とそれにのぞむ姿勢を次のように話し、さる四月の定例議会に、昨年度に比べ二十七パーセント増の十四億六千万円を計上し、町づくりのための総合的見地からの開発をすることにいたしました。これまでこの荒削りの布石とされている施策の上に今後、それらを基調とした第二次開発計画をしてゆく方針で、現場第一主義とスピード化をねらい、ネットワークの新しい行政（きどらない行政）の推進

を強調してゆくことになりました。とくに人間基本の行政を力説し、民生の安定教育文化の向上を力説、うるおいのある情緒豊かな町づくりを目指しています。公約としてかかげた四本の柱を中心に、その重要施策を発表、市民一人一人のしあわせを守るキメ細かな市政を展開してゆくことになりました。

市民のしあわせを高める

行財政と民生の安定からまず減税の実施、公営住宅の建設、消防力の強化、行政センターの建設、保健衛生の充実、交通安全思想の普及、社会福祉の向上につとめて、市民の利便と生活の安定を図ることになっていきます。

産業経済の振興

米とりんごを守るために農業経営を積極的に保護育成する施策をとるとともに出稼ぎ対策、企業誘致の推進、商工業の振興に務め、とくに、国立総合訓練所の設置にともない、若年労働者の技能養成に積極的に取りくむことになりました。

教育文化の向上

さきの学園都市宣言をきっかけに、教育水準の向上と施設の充実をはかり、幼児教育施設の充実、東小学校、団地小学校、第二、第三中学校の建設などを推し進める。さらに社会教育面では、働く青少年のための社会教育施設や、三道会館公認グラウンドの建設などをはじめ、指導者の養成、確保につとめて、情緒ある人づくりをねがっています。

大五所川原の建設

西北二十余万の中心都市として発展を期待されているので、都市施設の充実

子は親のかがみ 子どもをすこやかに育てるには

- 子どもものしつけは小さいうちに習慣づけましょう
- 1、道路を横切るとき、右左を見る
 - 2、遊びにゆくとき、行先を知らせる
 - 3、自分のしたことの、あとかたづけをする
 - 4、ことばづかいに気をつける
- 小学校へ就学する前は、大人のいいつけに素直に従う時期だといわれています。

は、駅裏開発など計画的な市街地拡大をはかるとともに、モデル的道路整備、建設をすすめる。さらには、県民の森、青年の道、狼野長根、フラワ

出稼ぎ対策室を設置しました

年々増加する出稼ぎに对应して、市ではこのたびの人事異動により、新たに出稼ぎ対策室を市民相談室につくり、室長に外崎誠一を任命しました。

当市からの出稼ぎ者は推定六千人といわれ、夏型冬型があり、二世帯に一人の割合で出ていることになり増大し、農業所得に迫るものがあるといわれている反面、その弊害も多く発生しマスコミをにぎわす問題が起っています。

市では、こうした出稼ぎの諸問題が起らないよう、明るい出稼ぎを目標に出稼ぎの総合対策を考えて設置しました。

業務内容は、出稼ぎの実態調査、職業安定所ならびに現地と留守家庭との連絡等をする、いわばパイプ役から、出稼ぎ者による出稼ぎ協会の組織化をして互いの連絡、助けあいを推進する予定でいます。

これまでのように発生した問題の解決策ばかりでなく、より積極的にとり組む姿勢でいます。こうした意

一センター、不動公園など観光施設の整備、拡充を促進し、広域行政の中心的役割を果し、将来の大五所川原市建設の基盤を築いてゆくことになりました。

味でも抜本的な、総合的な対策が必要であり、やがて組織化される協会のもつ意義は大きいものとなりましょう。出稼ぎ者皆さんの自覚とご協力を期待し、対策室の利用を望んでいます。事務室は、市民相談室に併設されています。

選挙権を 新しく選 取得される人

六月一日現在で選挙人名簿を調製しますから、今迄選挙人名簿から脱落していた人や、これから新しく取得される人は至急申し出て下さい。

- ◇昭和二十四年六月二日以前に生まれた人
 - ◇本年三月一日以前から当市に居住している人
 - ◇申出期限は六月二日です
 - ◇縦覧期間は六月八日から十四日までの七日間です
- なお、詳しいことは選挙管理委員会に問い合わせください。

西北五〇〇、焼却場着工

当市を中心に一市四町三か村で運営される「西北五〇〇焼却場」の建設工事はさる四月から着工、明春五月本格的操業にはいることになりました。

衛生処理場に続く広域事業で、衛生健康都市実現に前進しています。総工費一億三千万円、一日六十トンのゴミを焼却処理できるもので、東北でも屈指の施設となります。

このゴミ焼却場は、高瀬地内に建設されるもので、

十二月からU波テレビが見られます

新しく青森テレビが設立され、ことしの十二月頃、馬神山からUHF電波で放送を開始することになりました。このほど関係者が馬神山の現地に趣き、調査測量してよいよ建設が具体化されることになりました。坪毛沢から馬神山(五百四十九メートル)までの資材運搬道路の建設、電気・電話施設などの完了次第、庁舎、アンテナ塔の建設がなされて十一月中には試験電波を出す予定です。

このテレビの開始によつて、当地方はこれまでの1・3・5チャンネルの外、いま一つの放送が楽しめることになりました。

いままでのテレビでUHF放送を受信するためにはUHF用のアンテナと約一万円代のコンバーターという器具をとりつけなければなりません。

ただ、このコンバーターには、単チャンネル用と、オールチャンネル用があり

五所川原市、木造町、鶴田町、金木町、中里町、稲垣村、森田村、柏村が加入しています。

施設には、ばい煙や臭気をとりのぞく公害防止装置がつけられているので、公害の心配はありません。

またこの完成によつて、ゴミ捨て場に困っていた当市にとつてもその恩恵は大きく、街路、河川の美観、環境整備にも大きな役割を果たすものと期待されています。

ますが、近い将来、NHKもRABもUHF電波に替わる予定ですのでコンバーターをとりつける場合はオールチャンネル用をおすすめします。

また新しくテレビを買いかえる場合は、オールチャンネルテレビを買い求められると便利だと思います。

詳しいことについては、電気器具店とご相談ください。

なお、馬神山をはじめ、中山山脈の中の梵珠山、眺望山が県民の森として県民の憩いの場となりますが市では昨年度にひきつづき梵珠山から青年の道建設を予定していますし、営林局県でも遊歩道やその他の施設の建設計画を進めていますので、中山山脈の雄大な自然が、容易に市民に紹介されることになりましょう。

ことしの

行政連絡員

昭和四十四年度の市行政連絡員に、次の方々をきめこの程、辞令を交付しました。

○五所川原地区

- 木村久造(錦町)、岩谷善一(柏原町)、氣田勝治(上平井町)、船田鉄雄(平井町)、鶴谷良吉(中平井町)、寺田三次郎(下平井町)、工藤正美(さつき町)、工藤次栄(敷島町) 井沢征雄(東雲町)、外崎源次郎(旭町)、石井征次郎(大町)、福士孝一(寺町岩木町)、小山田鳳隆(末広町)、小野清茂(末広町)、黒滝嘉一郎(木屋町)、伊香常雄(本町) 高橋武一(東町)、秋元滝太郎(弥生町)、寺田秋栄(鎌谷町)、斎藤次郎(第一柳町)、高橋賢次郎(第二柳町)、金沢定雄(成田町)、小田桐留八(元町) 唐牛行雄(新町)、藤田謙太郎(田町)、福士周蔵(栄町)、小田桐惣市(田園調布)、前田貢(十川町) 近藤久作(平和町)、今勝司(千鳥町)、成田平司(雛田町)、三浦行一(小曲(幾島町、川端町は未定))

○七和地区

- 堀内金石エ門、福士信悦 福士光男(高野)、今多作 新谷啓一(前田野目)、三上行夫(持子沢)、松山与四郎(羽野木沢)、松山与五郎、伊藤定雄(原子)、三上庸一(俵元)。

○長橋地区

- 秋田善吉(浅井)、石岡永作、石岡善一(福山)、須藤喜一郎(杉派立)、須藤留四郎(野里)、成田秀四郎(神山)、長尾豊作(松野木)、工藤東太郎(福泉)、石岡治男(若山)、横島岩太郎(石田坂)、中山幸一(戸沢)、中川二三(豊成)。

○梅沢地区

- 前田勝雄(上梅田)、神喜三郎(中梅田)、前田勝美(下梅田)、小山内勘三郎、成田富雄(中泉)。

○栄地区

- 平山千代吉、平山慶吉。

○松島地区

- 毛内幸次郎(吹畑)、新井雄一(唐笠柳)、寺田市太郎(石岡)、高橋定義、須藤己之松(水野尾)、高谷作次郎(漆川)、新谷良一、伊藤角石衛門(太刀打)、三浦征市、小野千代造 小野徳右衛門(一野坪)、高橋義正(馬性)、外崎武美、工藤武雄、渋谷武則 平山茂雄(金山)、対馬国雄(米田)、猪口征太郎(二本柳)、木村昂一、木村佳一、工藤房一、笠井良一(松島町)。

○飯詰地区

- 前田勘四郎(坂の上南新)、和島豊吉(北新中町) 前田惣作(新町大町)、横山征吉(伝助町下町)、平山熊三郎(上町寺町)、其田豊一(大正町大日町)、竹林誠逸(南下中下)、葛西兵市(長坂味噌沢)、其田良逸(東岩崎西岩崎) 坂本四郎(曙町)、木田茂作(興隆朝日)、浜館馨(五本松北下)、田中正雄(下村)。

○中川地区

- 藤森作太郎、秋田雄策、松沢吉太郎(川山)、秋田兼吉(沖飯詰)、笠井敏吉(桜田)、館山忠太郎(中泊)、奈良岡賢一(種井) 山形弥次郎(田川)、原定五郎(新宮)、斎藤永蔵(長橋)。

○毘沙門地区

- 北川光男、太田藤太郎、成田誠一、山口吉太郎、山口繁雄(毘沙門)、古川武松(上長富)、猿賀金蔵(中長富)、高橋俊一郎(下長富)。

○三好地区

- 開米賢作、開米三吉、小林一三三(鶴ヶ岡)、一戸良秋、木村礼吉、工藤直四郎、佐藤又止郎(藻川)、三浦正毅(高瀬)、小笠原清衛(福井)。

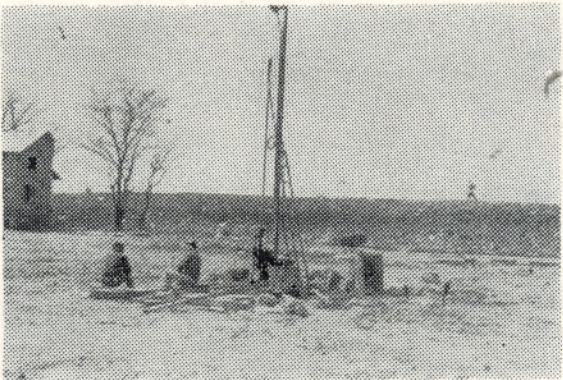
三道会館へ着手

柔道、剣道弓道を愛好する方達にとつて、待ちこがれていた三道会館は、いよいよ建築に着手しました。市では、およそ七百万円余りの予算を見込んで、このほど入札（高杉建設）を終えましたが七月完成をめざして工事が進められています。

会館は、旧五一中校舎の一部を改装建築するもので、三道場を備えたということでは、県下でははじめてです。この運営は市教育委員会と体育協会が当る予定ですが、この中には各スポーツ協会の事務所や合宿舎も設ける予定です。とくに青少年の体位向上に力を入れる方針で、開放することになりますから、利用を望んでいます。

市庁舎建設地質調査終る

四月末からボーリングをして、地質調査をしていましたが、さる九日完了し、今月中にその結果がわかることになりました。市庁舎はおよそ三億五千万円の予算で建設されますが、今年度は一千二百万円の調査費を計上しており来年度から着工するための準備を進めています。



(かつては、大火後の更生街もありましたが…)

名を採用し、五月一日付でつぎのとおり配置しました

消防署	工藤 晃
工藤 修次	工藤 修次
工藤 明	工藤 明
中田 幸逸	中田 幸逸
三上 義博	三上 義博
山上 富士雄	山上 富士雄
奥瀬 康二	奥瀬 康二
相馬 金一	相馬 金一
黒滝 光	黒滝 光
秋庭 孝樹	秋庭 孝樹
藤田 孝一	藤田 孝一
吉田 新一	吉田 新一
野呂 久子	野呂 久子
水道課	川浪 久子
会計課	前田 礼子
保衛課	前田 礼子

③

ことしの新採用

市職員
公募のうちから次の十五

適材を適所に人事異動発令

市では、五月一日付で、総数八十名以上にのぼる人事異動を発令しました。紙面の都合で課長補佐級以上（一部係長級）を掲載します。

- ◆企画総務課
主査島谷清八郎（給食センター所長）、主査佐藤昌一（都計課長補佐）、市民相談室長野呂武夫（税務課長補佐）、出稼対策室長外崎誠一（秘書係長）。
- ◆税務課
課長補佐島田克孝（市民課長補佐）
- ◆市民課
課長補佐兼任住宅係長荒谷初三（住宅係長）
- ◆保険衛生課
課長今実（都計課長）、主査小山内儉二（消防署）。
- ◆都市計画課
課長長内正明（企画総務課主査）、課長補佐逆瀬川清巳（団地管理事務所次長）。
- ◆会計課
課長山田芳裕（同心得）
- ◆農林商工課
課長長尾政雄（同主査）
課長補佐三上敏一（七和支所長）
- ◆教育委員会
中央公民館長山川実（保険衛生課長）
給食センター所長心得木村誠一（毘沙門出張所長）
- ◆支所
七和支所長堀内秀城（高等看護学院事務管理者）
松島支所長兼務藤田藤太郎（管理事務所長心得）
長橋支所長心得渋谷俊一（教委総務係長）
毘沙門出張所長心得川村勇藏（同主事）
- ◆高等看護学院事務管理者

心得阿部昭雄（西北中央病院庶務係長）

◆市民文化会館次長心得
鳴海重雄（広報係長）

◆消防本部・署
消防長沢田長三郎（同心得）、署長対馬義勝（本部次長）、本部次長山上惇（庶務係長）。

交通安全対策室長兼防災対策室長木村竜麿、交通安全対策室次長盛武司（市民相談室長）、防災対策室次長原政、消防署副長久末武義（同隊長）、同副隊長内勝雄（同隊長）、専任隊長宮崎征義（同隊長）。

福祉年金定時所得状況届を提出してください

老令・障害・母子福祉年金を受給されている方は、毎年六月中旬に、定時所得状況届を提出することになっています。この届は、今年度も福祉年金を支給するかどうかを決定する大切なものですから、お忘れなく保険衛生課、国民年金係に提出してください。

- 一、持参するもの
国民年金証書
- 二、提出期限
六月十四日

病院の面会時間を守ってください

西北中央病院の面会時間は次のとおりですが、この頃、この時間が守られないため、治療にさしつかえるなど迷惑しています。面会時間は午後一時から七時までです。ご面会の方はこの時間内にお出でになるようお願いいたします。時間外のご面会は固くお断り申し上げますのでご了承ください。



(乾橋下をきれにする寺町・岩木町の皆さん)



(大町通りの下水ドロを一掃)



(松島町に緑を植える五農高生)

町をきれいに、ゴミ・ドロ一掃と緑を植えこむ

雪どけ後は例年のごとくゴミやドロが町にあふれ当市を訪れる人はその汚なさ臭気と驚いたというのも今は昔のこと

昨年度から市長陣頭指揮ではじめられた美化運動は効を奏し、雪消えと同時に、市民は自発的に清掃をはじめました。これには市の機動力も応援参加四月の初旬と下旬の二回の活動で、町は見違えるように美しくなりました。

また緑の少ない当市ではこれがためにうるおいが不足だといわれなくてはならないと緑を植える運動が各町内毎に計画され、ドンドン植樹が行なわれていきます。町の美化と防災のために大いに活用される日も遠くないでしょう。

新入生に記念植樹苗木を贈る

恒例の小中新入生に贈る苗木の贈呈式と植樹がことしもさる四月五所川原第一中学校で、佐々木市長、永井教育長が出席して行なわれました。

ことしの新入生は、小学校九百七十二名、中学校千六十二名で、梅百七十本、桜百七十本、さつき千七百二十九本、計二千六十九本をそれぞれ配分して贈りました。

これらの苗木は、校庭や各自家の庭に植えられ、子ども自身が管理することによって、豊かな人間性を養うことができるものとの願いがこめられています。



郵便貯金婦人

モニター募集

五所川原郵便局では、二十才以上の婦人モニターの数募集しています。任務はアンケートの回答(年三回)のほか、座談会などの行事に参加するもので、応募者は、官製ハガキに次のことをかいて、五月三十一日までに、五所川原郵便局宛差出してください。

- 一、住所
- 二、番号
- 三、氏名、年齢、職業
- 四、夫の職業
- 五、モニター経験の有無
- 六、応募の動機、または貯蓄に関する感想を簡単に記入

決定した場合は、仙台郵政局より通知します。

いよいよ田圃にも水が入り、代掻き、田植えの頃となりました。例年、この時期の農繁期から子どもの水死事故が多く発生しています。水の事故は痛ましい死につながります。いそがしい仕事に気をとられて、かわいい子どもを忘れがちになりますので部落内で季節保育所の開設が共同で子守の人をたのむなどして、事故を未然に防止してください。

海上保安学校

普通科学生募集

◇試験要綱

- 1 第一次試験
六月二十二日(月)
- 2 近くの試験地
青森市
- 3 修学年数
六か月
- 4 入学資格
昭和二十年四月二日以降に生まれた高校生以上の男子
- 5 待遇
(1)入学中は二万八〇〇円が支給されます
(2)卒業後は主として巡視船に乗船
(3)本俸二万六千二百四十五円、諸手当約五千五百円が支給されます
- 6 受付期間
五月十日から五月二十八日まで

なお詳細については、返信用十五円切手同封のうえ左記へご照会ください。
青森市本町四丁目一
青森海上保安部